

## 多賀城駅北地区市街地再開発事業に伴う市立図書館の移転について

教育委員会事務局

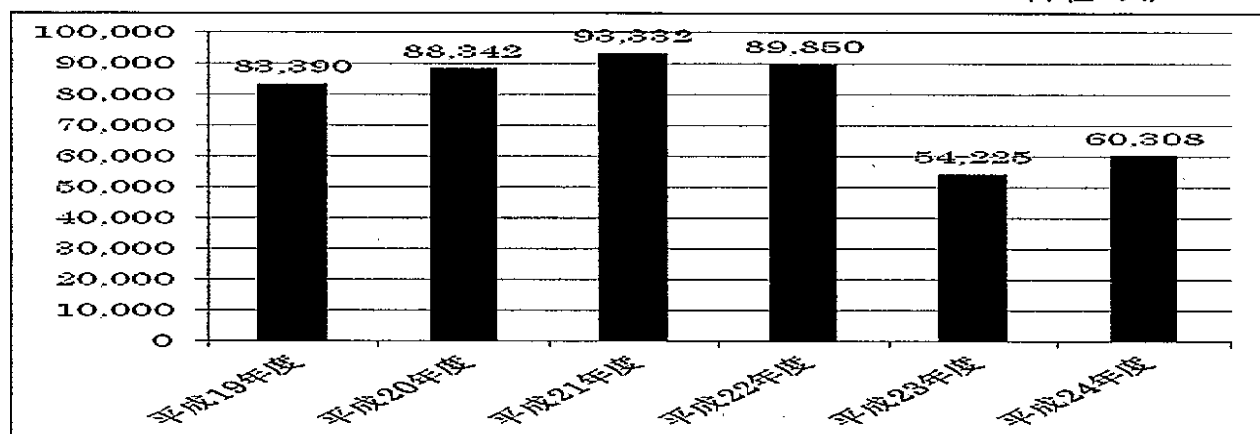
## 1 現状と課題について

多賀城市立図書館は昭和53年6月の開館以来、市民の多様な学習意欲に応え、親しみやすく利用しやすい生涯学習の拠点施設としての役割を担ってきました。その間、山王地区公民館・大代地区公民館の図書館分室運営や移動図書館車さざんか号の運行を行うほか、新しいメディアへの対応や学校教育との連携など、幅広い取組みを通じて利用者の拡大を図ってきたところです。

一方、すでに開館35年を経過した市立図書館は、その建物自体の老朽化やインターネット・電子図書の普及などの時代潮流の中で、現在の施設ではこれらの対応が難しいことも事実です。

市立図書館利用者数（貸出者総数）の推移

(単位：人)



現在の図書館は、多賀城小学校や太陽の家といった公共施設に隣接した閑静な住宅地にあり、樹木に囲まれ四季折々の豊かな自然に恵まれた中で多くの利用者に親しまれています。豊かさやゆとりが感じられる読書環境は、利用者拡大の要素として重要な部分を担ってきました。

しかし、自家用車の利用が困難な高齢者や幼い子どもと保護者、障がいのある方々にとっては、利用しにくい場所であることに加え、現在の開館時間などからも、読書のための周辺環境が良好であることだけでは市民の図書館利用促進にはつながりにくいといった課題を有しています。

## 2 図書館に対するこれまでの提言等

図書館の運営については、様々な機会に施設利用者や市民の皆さんから提言や提案が寄せられてきました。その主な内容は、次のとおりです。

## 【図書館基本計画策定市民ワーキング】

- ・市民誰もが利用しやすい図書館であるためには、書棚間のスペース等の確保も必要であることからの現状の2倍程度の3000㎡以上の面積が望ましい。
- ・庭や樹木等の周辺環境にも配慮したくつろぎの空間の設置して欲しい。
- ・不足している駐車場・駐輪場を拡大して欲しい。
- ・点字ブロックの敷設、フロアのバリアフリー化、託児室の設置等、障がい者や高齢者、乳幼児

を伴った利用者に配慮した施設設備の向上に努めていただきたい。

#### 【多賀城市議会の一般質問等】

- ・ 司書資格者の充実による利用者のサービス向上に関する事項
- ・ 施設・設備の充実（書庫の増設等）に関する事項

#### 【図書館協議会】

- ・ 蔵書数を増加して欲しい。
- ・ 子ども達への読み聞かせのための、専用コーナーを設置して欲しい。
- ・ 車椅子利用が可能なスペースの確保が必要である。
- ・ 子ども達が利用しやすい立地が望ましい。
- ・ 市内循環バスを活用した図書館の活性化に努めていただきたい。
- ・ 複合施設を含め、新しい利用形態の検討も今後は必要と思われる。
- ・ 図書館として広いスペース確保が可能で、公共交通の便がよい駅前のような場所に建設し、電車でも利用できる場所が望ましい。
- ・ 新聞や本を読む座席数を多く配置して欲しい。
- ・ 建物も機能も、質・量とも全体的に充実して欲しい。

#### 【社会教育委員会議】

- ・ 図書館は単なるブックセンターではなく、利用者と市政をつなぐ機能を持つことが望ましい。
- ・ 社会教育施設の外部化（図書館を含む）には、管理運営を担う新たな組織づくりが重要となるだろう。

### 3 今後の方向性について

特別史跡多賀城跡をはじめとする歴史遺産と質の高い音楽や芸術に触れることができる多賀城市のイメージを多賀城駅周辺から更に増幅させていくためにも、地域文化創造の拠点の一環として市立図書館をJR仙石線多賀城駅前に移転することについて検討を進めることにしました。

図書館は、単に本の貸出や閲覧のためだけの施設ではなく、知識や人々との出会いの場である「知の広場」としての機能を有することも重要な要素となっていることから、施設の整備計画や運営計画については、これまで様々な機会に多くの皆さんからいただいた提案や提言を参考に進めていきたいと考えています。

### 4 図書館移転によって想定される効果

- (1) 駅前であることから、通勤・通学者等を含む多段階の階層が生活動線上で利用できる環境となり、図書館利用率及び図書館の認知度は大幅にアップすることが期待できます。
- (2) 図書館の床面積が増加することで、車椅子の方も利用しやすい空間スペースが確保することに加え、子ども図書室の設置、読み聞かせ室や視聴覚室を設けるなど、現在の施設で課題となっていたハード面の案件が大きく改善できます。
- (3) 電車、バス、タクシーなど交通のアクセスも格段に良くなり、わかりやすい平坦な場所に立地することから、利用しやすい環境となります。
- (4) 図書館利用者は年間約9万人（平成22年度89,850人）ですが、JR仙石線多賀城駅利用者は年間約230万人（平成22年度2,331,985人 統計書）であることから、現状より大幅な利用者の増加が期待できます。